

科目区分	専門基礎分野	単位数・時間数	単位1	時間30 (15)	開講時期	1年・後期
授業科目名	疾病論Ⅴ（脳神経）				授業形態	講義
担当教員	川井 元晴			実務経験	○（医師）	
授業概要	看護の展開に必要とされる医学的な基礎知識を系統的に学ぶ。 脳神経機能・運動器機能の作用と障害・治療について学ぶ。 画像診断について基礎的知識を深め、看護に役立てる。					
学習目的	脳血管疾患における症状や日常生活への影響を理解する。急性期から回復期においての病態、治療の経過を知り、援助方法を学ぶ。					
到達目標	1 脳・神経機能障害のある対象の身体的機能の変化について述べる事ができる。 2 運動機能障害のある対象に対する援助方法について述べる事ができる。 3 脳血管障害の合併症、二次障害について述べる事ができる。					
授業内容	1・2 脳・神経系の構造と機能 3・4 症状とその病態生理 5・6 症状とその病態生理 7・8 検査・診断と治療・処置 9・10 検査・診断と治療・処置 11・12 疾患の理解 13・14 疾患の理解 15 疾患の理解 終講試験					
評価方法	筆記試験、授業態度等で総合的に評価する。					
教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学 7 脳・神経 第16版第2刷 医学書院 2025					
参考図書 等						
備考						

科目区分	専門基礎分野	単位数・時間数	単位 1	時間30 (6)	開講時期	1年・後期
授業科目名	疾病論Ⅴ (皮膚科)				授業形態	講義
担当教員	安井 宏夫			実務経験	○ (医師)	
授業概要	皮膚の構造と機能の理解を深め、各症状の病態生理を構造と機能に関連づけて理解を深める					
学習目的	皮膚の疾患を持ち、その機能に障害のある患者に対する看護を学ぶ。					
到達目標	1 皮膚の構造と機能について述べる事ができる。 2 皮膚の疾患における身体的な問題とその援助方法について述べる事ができる。 3 皮膚の疾患を持つ患者の治療、検査について述べる事ができる。 4 皮膚の疾患を持つ患者の心理、社会的な問題について述べる事ができる。					
授業内容	1、2 各器官の構造と機能 症状とその病態生理 3、4 検査と治療 5、6 疾患の理解 終講試験					
評価方法	筆記試験、授業態度等で総合的に評価する。					
教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学12 皮膚 第16版1刷 医学書院 2025					
参考図書 等						
備考						

科目区分	専門基礎分野	単位数・時間数	単位 1	時間30 (4)	開講時期	1年・後期
授業科目名	疾病論Ⅴ (眼科)				授業形態	講義
担当教員	萱島 通徳			実務経験	○ (看護師)	
授業概要	眼の構造と機能、脳へ伝達するメカニズムを理解し、その障害が及ぼす身体的、心理的、社会的影響、その援助方法について理解する。					
学習目的	1 眼の構造、およびその機能、脳へ伝達するメカニズムについて述べる事ができる。 2 眼の障害が及ぼす身体的、心理的、社会的な影響について述べる事ができる。 3 眼の疾患における治療、検査について述べる事ができる。 4 視機能の障害がある患者への援助方法について述べる事ができる。					
到達目標	1 眼の構造、およびその機能、脳へ伝達するメカニズムについて理解する。 2 眼の障害が及ぼす身体的、心理的、社会的な影響について理解する。 3 眼の疾患における治療、検査について理解する。 4 視機能の障害がある患者への援助方法を学ぶ。					
授業内容	25・26 症状とその病態生理 検査と治療 27・28 疾患の理解 29・30 疾患の理解 終講試験					
評価方法	筆記試験、授業態度等で総合的に評価する。					
教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学13 眼 第15版第1刷 医学書院 2025					
参考図書 等						
備考						

科目区分	専門基礎分野	単位数・時間数	単位 1	時間 30 (6)	開講時期	1年・後期
授業科目名	疾病論Ⅴ (耳鼻咽喉科)				授業形態	講義
担当教員	影山 慎一			実務経験	○ (医師)	
授業概要	耳鼻咽喉及び頸部の構造と機能の理解を深め、各症状の病態生理を耳鼻咽喉の構造と機能に関連づけて理解を深める					
学習目的	耳鼻咽喉を中心とした感覚器がからの刺激が脳へ伝わるメカニズムを理解し、その障害が及ぼす身体的、心理的、社会的影響、その援助方法を学ぶ。					
到達目標	1 耳鼻咽喉、および頸部の構造と機能について述べる事ができる。 2 耳鼻咽喉疾患患者の身体、心理、社会的な問題を理解し援助方法について述べる事ができる。 3 耳鼻咽喉疾患の症状、治療、検査についてについて述べる事ができる。					
授業内容	1、2 耳鼻咽喉・頸部の構造と機能 症状とその病態生理 3、4 検査と治療 5、6 疾患の理解 終講試験					
評価方法	筆記試験、授業態度等で総合的に評価する。					
教科書						
参考図書 等	系統看護学講座 専門分野 成人看護学14 耳鼻咽喉 第15版第1刷 医学書院 2025					
備考						

系統看護学講座 専門分野 成人看護学14 耳鼻咽喉 第15版第1刷 医学書院 2025